

# A 自由人

# Free Man

自由な人生と自らの理想をかがげ  
息苦しい時代を放浪する青年を、  
ドイツ人映画監督が見つめる…。



ケイは22歳。成績至上主義の社会を拒否して、安定した生活と引き換えに、あえて先の見えない将来を手に、京都の路上や橋の下をめぐらに“自由人”として生きている。自然や音楽をこよなく愛する彼の心の中には、ロマンチックな夢の世界が広がっている。しかし、蓄えが尽きると、低収入の日雇い労働者として発掘現場で日銭を稼がねばならない。ドキュメンタリー映画『自由人』では、ケイが自ら選んだ自由な人生と、その高くかかげた理想の世界から次第に離れていく様子が、カメラを通して描かれる…。

2017年、第22回釜山国際映画祭・釜山シネフィル賞受賞作品。

原題：A Free Man  
監督・撮影・編集：Andreas Hartmann  
サウンドデザイン：Florian Marquardt  
グラフィック：Roman Bejnar  
ZDF/3sat 放送局担当者：Daniel Schössler  
製作国：ドイツ・日本、2017年、ドキュメンタリー、75分  
日本語音声、英語字幕付

## アンドレアス・ハルトマン (映画監督)

1983年生まれ。ベルリン在住。ポツダム＝バーベルスベルグ映画・テレビ大学卒業。自身の映画は、これまでトロント、ワルシャワ、サンパウロ、ベルリンなど各地の国際映画祭で上映されている。2014年秋、ゲーテ・インスティテュート・ヴィラ鴨川に滞在し、本作『自由人』に取り組んだ。2017年には、ドイツのテレビ界で最も権威のある賞の一つ、グリム賞にノミネートされた他、ゲルト・ルーゲ奨学金を授与された。長編第3作目となるドキュメンタリー映画『自由人』(2017年)は、第22回釜山国際映画祭にて、最優秀ドキュメンタリー作品に贈られる「釜山シネフィル賞」を受賞した。2018年秋、トーキョーアーツアンドスペース (TOKAS) の海外クリエイター招聘プログラムにより東京にレジデンス滞在中。

フィルモグラフィー：  
2010 Days of Rain / 2015 My Buddha is Punk / 2017 A Free Man



主催・お問い合わせ  
**Goethe-Institut Villa Kamogawa**  
京都市左京区吉田河原町 19-3 (川端通り荒神橋上る)

TEL: 075-761-2188 (内線31#)  
info-kyoto@goethe.de  
www.goethe.de/villa-kamogawa

〈交通のご案内〉  
京阪電車 出町柳駅より 南へ徒歩8分  
京阪電車 神宮丸太町駅より 北へ徒歩6分

